

日付：2021年3月16日（火）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	独り身高齢者、安全網に隙 身元保証代行、不透明契約相次ぐ について	日経 45 介護・認知症	<ul style="list-style-type: none"> 独り身の高齢者の身元保証代行業を巡る訴訟が増加（業務契約の不透明さが横行） 具体例では、身元引受を親族に断られた高齢者が、主に「身元保証と葬儀の費用」として90万円で身元保証代行と契約。「死後に預金下ろせないと、入院や葬儀の費用が賄えない」と言われ、死後に預金全額を身元保証代行に譲る契約も追加。 女性の死後、身元引受代行が契約に基づき預金約620万円を引き出そうとしたところ、金融機関が待ったをかけて訴訟。判決は葬儀などの費用が約50万円とし、無効の判断 他にも、認知症者に、入会金72万円と毎月1万円の会費を支払い、身元保証や財産管理を委ねるといった契約を5分の説明のみで締結など、業務契約の不透明さが横行し課題 こういった記事を背景に、本日の日経7面の三井住友高齢者支援のサブスク等につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 話題として提供 ■ 介護関連の保障の加入確認 ■ 介護の保障はもちろん、認知症まで訴求
2	コロナ禍、経費7兆円減 について	日経 1 大見出し・投資	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる働き方の変化が企業収益を下支え 上場企業の2021年3月期は対面での営業や会議、イベントが減り、出張費や交際費などの関連経費が前期比で約7兆円減る見通し（21年3月期は12兆円と前期比5%減） 出張費などの波及で、交通関連の会社の課題は一段の深刻 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本日の大見出しとして情報をアップデート ■ 投資や積み立ての話題まで発展
3	米生保販売、オンラインが台頭 について	日経 7 コロナ・医療保障	<ul style="list-style-type: none"> 米国でオンラインを通じた個人生命保険の販売が伸展（とくに40代まで）「ズーム」等活用 同時テロ後、多くの人が保険を買い市場が広がり、コロナ禍も同様の傾向 米国での生命保険加入率は20年9月時点で成人で54%（リムラ社）。所得の中間層が課題 背景には、米国では、学生ローンを抱えている人が多いといった家計の事情 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 話題から保険の加入状況を確認 ■ シミュレーションの最新化や保障の最新化の訴求まで
4	膵臓がん薬を来年にも について	日経 16 がん・医療保障	<ul style="list-style-type: none"> 膵臓がん治療薬の臨床試験を22年に開始（オンコリスバイオファーマ） 遺伝子改変したウイルスを使ってがん細胞を攻撃する手法。先行する同社の薬に比べて10倍以上の活性が期待され、化学療法が効きにくかった膵臓がんの分野で、新たな治療の選択肢を提供。膵臓がんは、抗がん剤が効きにくいという課題 	<ul style="list-style-type: none"> ■ がんの保障の拡充や最新化

今日は何の日

- ・ 国立公園指定記念日
- ・ 財務の日

市況情報

日経平均/前日比	29,766.97	49.14	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.002%
TOPIX	1,968.73	17.67	国債(5年)/前日差	-0.090%/ ▲0.010
ダウ平均	32,953.46	174.82	国債(10年)	0.105%/ ▲0.005
上海総合指数	3,419.95	▲33.13	米国債(10年)	1.608%/ ▲0.019
ドル円	108.26-27	1円11銭安	中国国債(10年)	3.270%/ 0.021

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴: 調和を愛する正義の味方

長所	・ 律儀な面がある	短所	・ すぐに感情移入	誕生花	・ ハナズオウ・ミント
	・ 実行力の高さ		・ 仲間意識が強すぎる		・ 花言葉
引き際の見事さ	・ 引き際の見事さ	性別	金銭運上昇年代	年齢・年代等による特徴	
		女性	40歳まで順調	20代後半～30代前半で素敵な出会い	
		男性	40代から厳しい	61歳ごろ、奇跡的により運命が変化	

誕生日カラー
橙色



本日の深掘りウォッチ：認知症の必要性

認知症の患者数は、**予備軍を含めると、65歳以上の約4人に1人**といわれており喫緊の課題です。

日本は、世界の各国と同様に、**国家戦略として「認知症」を対策**しようとしています。それでも、予算の関係や周知等の課題もあり、『認知度』は低く、**身近であるという認識は低い**といえます。**本来であれば、「社会保障」として対応**すべき問題ですが、できていないのも現状。そんな**社会保障としてのすき間を民間（生命保険会社）にゆだねられている**中、自分の大切なお客さまには、しっかり保障として検討していただき、**最良の選択をしていただきましょう！**自分が守らなければ、ほかの人（会社）が機会を得ることに!!

認知症の保障の必要性を3ステップで説明

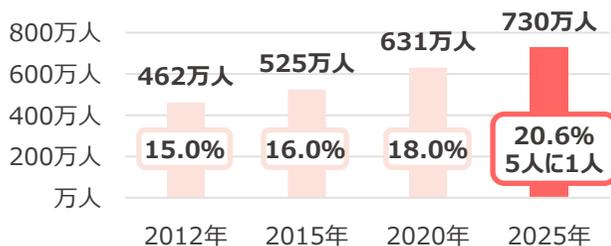
1

認知症が身近であることを説明

キーワード

- 65歳以上の方の5人に1人（2025年）
- 介護の原因の1位

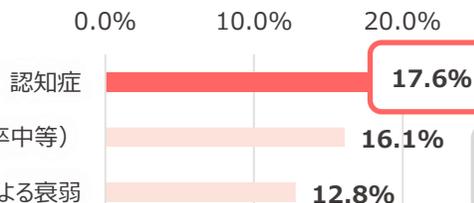
■ 認知症高齢者の将来推計※1



■ 介護が必要となった主な原因の構成割合※2



脳血管疾患（脳卒中等）
高齢による衰弱



2

国家で対策が検討されている事実をお伝え

キーワード

- 国も真剣に考えているんです
- 日本だけではなく、世界共通の課題

■ 日本の国家戦略※3

日本の認知症に対する国家戦略の概要

- 認知症施策推進大綱（2020年6月18日）



■ 世界の国家戦略（認知症）※4

日本	認知症施策推進総合戦略
米国	国家アルツハイマー計画
英国	国家認知症戦略

国も真剣に課題として認識しているんですね
社会保障の一つとして、考えていただきましょう!

3

お金がかかることを認識してもらう

キーワード

- 月平均78,000円
- 平均介護期間は4年7カ月
- トータルおおよそ500万かかる



■ 介護期間※5

平均4年7カ月

介護期間	割合 (%)
6カ月～1年未満	7.4%
1～2年未満	12.6%
2～3年未満	14.5%
3～4年未満	14.5%
4～10年未満	28.3%
10年以上	14.5%

■ 介護費用（月額）※6

平均月額78,000円

（+一時金の約69万と合わせて約**500万**）

提案へ

4

参考)※1,3,4…厚生労働省「認知症施策」/※2…厚生労働省「国民生活基礎調査」/2019年、※5…生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」/平成30年度、※6…生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」/平成30年度

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考させていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいようお願いいたします。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複写・複製・転載することは禁じられております (<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2021 k's らぼ株式会社